

「生老病死を

生きる」

2019年

日時

8月 3日 (土)

13:00 ~ 14:30

(受付開始 12:30 ~)

参加無料
先着
120名

場所

国際親善総合病院

新館2階 講堂1

講師

ビハーンラ僧

やまもと

山本

なるき

成樹

氏

<略歴>

1966年京都生まれ。自営業の両親の四男として生を授かる。

平安高校2年の時、母親のけがを機に得度(僧侶となるための儀式)

龍谷大学真宗学科卒業後、もともと関心があった作業療法士の資格を取得後、

約10年作業療法士として病院勤務。その後、兄弟が住職を務める寺院で法務活動。

2011年4月～2018年3月末まで、あそかビハーンラ病院常駐僧侶として勤務。

2015年2月より一般の急性期病院である三菱京都病院の要請を受け、

ビハーンラ僧として週2回出向。現在、他院の緩和ケア病棟にも要請あり活動を拡げている。

～ビハーンラ僧とは～

「ビハーンラ」とは古代インドのサンスクリット語「Vihara」を音訳したもので、「精舎・僧院」、

「心身の安らぎ・くつろぎ」、「休息の場所」を意味しています。

ビハーンラ僧は、仏教の教えである「生・老・病・死」の苦悩に対し、医療者と連携しながら、

病院内でケアを行う僧侶を指しています。病気によって生じる存在の危機から生じる気

持ちを聴き、「いのち」を見つめなおすお手伝いをしています。

申込み・問合せ

国際親善総合病院

緩和セミナー担当者まで

045-813-0221

セミナー後、希望者の方に緩和ケア病棟内見学を行います。(先着30名)
ご希望の方はお電話にてお伝えください。

